

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年6月27日

事業者名: 株式会社TANEDA

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・顧客の工事現場で廃棄処理される設備の回収・リユース（リサイクルユニット事業）の展開 ・保有車両の省エネルギー化		⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的な対策を	・リサイクルユニット事業の割合：令和6年度実績1%未満 ・営業車両のエコカーの割合：令和6年度実績13%	指標	・土木・建設機械部門売上高に占めるリサイクルユニット事業の割合の引き上げ ・営業車両のエコカー（ハイブリット車もしくは電気自動車）比率の上昇
					目標	・2029年8月期までに土木・建設機械部門売上高に占めるリサイクルユニット事業の割合を15%以上へと引き上げる ・営業車両のエコカー（ハイブリット車もしくは電気自動車）比率を2029年8月期までに50%以上にする
社会	・自社業務や勤務体制、教育体制の魅力発信を通じた人材確保への取り組み継続 ・社内外研修、資格取得推奨を通じた従業員のスキルアップ環境の整備 ・健康経営優良法人認定の維持および従業員の意見を取り入れながらの労働環境の継続的な整備・改善		⑧働きがいも経済成長も, ④質の高い教育をみんなに	・令和6年度時点：従業員18名 ・令和6年度時点：1級土木管理施工技士を4名、2級土木管理施工管理施工技士を0名 ・健康経営優良法人認定を継続	指標	・従業員数の増加（規模拡大） ・有資格者の増加 ・社内研修の実施 ・健康経営優良法人の認定継続
					目標	・2029年8月期までに従業員数を30名以上とする ・2029年8月期までに1級土木管理施工技士を7名体制、2級土木管理施工管理施工技士を10名体制とする ・金融教育など業務スキル以外の研修を年1回以上実施する ・健康経営優良法人認定を継続する
経済	・工事品質の高度化とDX化による効率化の両立		⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑪住み続けられるまちづくりを	令和6年度 オンライン会議システムの導入	指標	業務効率化に資するDXツールの導入
					目標	令和9年度までに建設現場におけるDXツールを1種以上導入
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 当社のSDGs宣言を社内に掲示し、従業員が意識できるようにしている。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取組記載ページ https://sdgs-decl.jp/z/taneda/				